



よこお たかふみ
横尾 貴文

結婚を望む方への婚活支援は
少子化対策としても必要

結婚活動支援への考えは

答弁 人生の選択肢であり正解はないが重要な施策

動画で一般質問を
ご覧いただけます

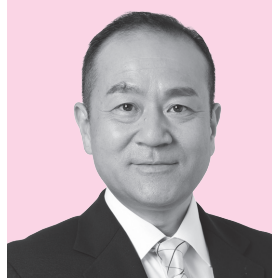


問 こども家庭庁の調査では、結婚相手を見つけることにに対し「具体的に何をすればいいかわからない」という回答が多い一方、結婚願望があるという回答も多い結果が出ている。行政の婚活支援における取り組みの大前提は特定の価値観を強いるものではなく、結婚や子どもをもつことを当たり前と考えなくていいこと、正解はないこと、結婚しないことや子どもをもたないことなどいろいろな選択肢がある。それらを踏まえ、結婚意欲が高まった際には適切なサポートや情報にアクセスできるようにすることが重要と考えるが市の考えは。

答 結婚への考え方も多様化し、結婚は人生の選択肢の一つであり、結婚するか、または、独身でいるのかは自身で決めることであり正解はないものとする。結婚を望む方への支援を行うことは課題である少子化対策の一環としても必要。

問 県の事業でセキュリティやプライバシー面、コスト面でも利用しやすいSAITAMA出会いサポートセンター事業に関する市内の状況は。

答 市は運営協議会の発足当初から参加しており、これまでに男性157人、女性93人、合計でのべ250人の方が登録、成婚退会は男性4人、女性5人である。



み き し ん や
三木 伸也

AEDに三角巾があると女性の胸部を隠せプライバシーが守られる

三角巾を配備することは

答弁 説明書の配備と合わせ進めてまいりたい

動画で一般質問を
ご覧いただけます



いわゆる「闇バイト」対策について

問 被害状況の把握と被害に遭わせないための対策は。

答 令和6年1月から11月までの県内特殊詐欺被害額約43億円、住宅侵入窃盗1,294件。市内特殊詐欺被害額約626万円、住宅侵入窃盗10件。対策として防犯機能付電話機購入等の補助を導入。

農業における支援について

問 経費等を価格転嫁がしづらい農業だが、今後の支援について考えは。

答 農業経営者を対象に、機械の更新費用、経営地拡大に伴う整備費用の支援を計画している。

重度心身障がい者の福祉タクシー券助成について

問 事業者、利用者、障がい者団体への周知と、福祉タクシー利用料金の助成制度の利用率は。

答 事業者には新たな協定の締結の際に周知。利用者には障がい者手帳を交付する際に説明。障がい者団体には「日高市障がい福祉連絡協議会」に出席の際に周知を図りたい。利用率は自動車等燃料費の補助制度と合わせるとほぼ8割である。



©KOMEITO

私達の行動で救える命があります